



# 広報もろやま

# 2.20

特集  
春の流鏑馬



## 主な内容

- 特集 春の流鏑馬 ..... 2 ~ 9
- フォトグランプリ ..... 10~12
- 鎌北湖紅葉まつり写真コンクール ..... 13
- 教育NOW ● ぼくらのキャンパス 14・15
- わだいの特選 ● キラリ輝いています 16・17
- 歴史散歩 ..... 18
- お知らせ ..... 19~27
- 毛呂山思い出写真館 ..... 28

## おとうさんのヤキイモタイム

1月24日、社会福祉協議会およびもろやま子育てネットワークが『おとうさんのヤキイモタイム』を開催しました。ヤキイモが焼けるまでは、会場の歴史民俗資料館の広場で竹馬やコマ回しなど、昔の遊びを楽しみ、お腹がすいたころ、ちょうどヤキイモが完成！ 落ち葉で焼き蒸したヤキイモは、しっとりホクホクで、参加者から笑顔がこぼれました。



# 特集

# 春の流鏝馬

いとけない幼子が

主役を務める春の流鏝馬。

勇壮な秋の流鏝馬とは

趣のことなる

和やかな祭りには、

子どもの健やかな

成長を願う

深い愛情が込められている。

# 幼子の成長を

## 祈願して――

### 幼い子どもが主役

春の麗らかな日差しの中、白・紫・赤の三色で飾り立てられた花笠と赤い陣羽織で盛装した幼い乗り子が出雲伊波比神社を訪れる。春の流鏑馬の風景である。

毛呂山町における代表的な祭りである流鏑馬祭りには、毎年11月3日に行われる秋の流鏑馬と3月

の第2日曜日に行われる春の流鏑馬がある。

若武者姿の乗り子が疾風のごとく駆け抜け、馬上から矢を放つ勇壮な秋の流鏑馬に対し、春の流鏑馬は7歳前の男児が乗り子となり「願的」という静止している馬上からの矢を射る行事のみが行われる穏やかな流鏑馬である。

### 1日限りの祭り

春の流鏑馬は、1日限りの祭りである。乗り子、当番行事人、後見、矢取り、口取り、乗り子の父親で構成された一行は、的宿を出発し、出雲伊波比神社へと向かう。その後口すぎ、爪切りを行い、鳥居の前で神官のお祓いを受け、馬場へと入る。馬場入りした後は、二度の馬見せを行い、三度目に「願的」に矢を放つ。そして乗り子は父親と拝殿に行き、再度お祓いをしてもらい、的宿へと引き返していく。このように一連の祭礼の手順は秋の流鏑馬と似ている。



「願的」、矢を射るのはこの1回のみ。

しかしながら、このような一連の祭礼手順が、1日で行われているところが秋の流鏑馬とは大きく異なる点である。

### 「オカイドリ」に守られて

春の流鏑馬のもう一つの特徴は、的宿と神社までの往復、馬場内において乗り子の頭上に常に「オカイドリ」と呼ばれる竹に掛けられた小袖が随行するところにある。

「オカイドリ」は、母親の象徴とされ、幼い乗り子を見守り、付き従っていると考えられている。



母親の象徴「オカイドリ」

# 「七つうちは神の子」

春の流鏑馬やぶさめの主役を務めるのは7歳前の男の子。

これは春の流鏑馬としうらが年占とらや豊凶判断ほうきょうといった神意しんいをはかる目的で行われるものであるため「七つうちは神の子」とされる子どもを射手いてにすることにより、その結果をより神意に近づけようとする意図が見うけられる。このような習慣はある意味で子どもが成長する過程での通過儀礼であり、子どもの成長祈願でもあるといえる。

そこで、以前に春の流鏑馬の乗り子を務めた子どもと今年ことしの春の流鏑馬で乗り子に選ばれた子どもにも焦点をあて、当時どのように感じていたのか、また今どのような心持ちでいるのかなどをその父親に聞きました。

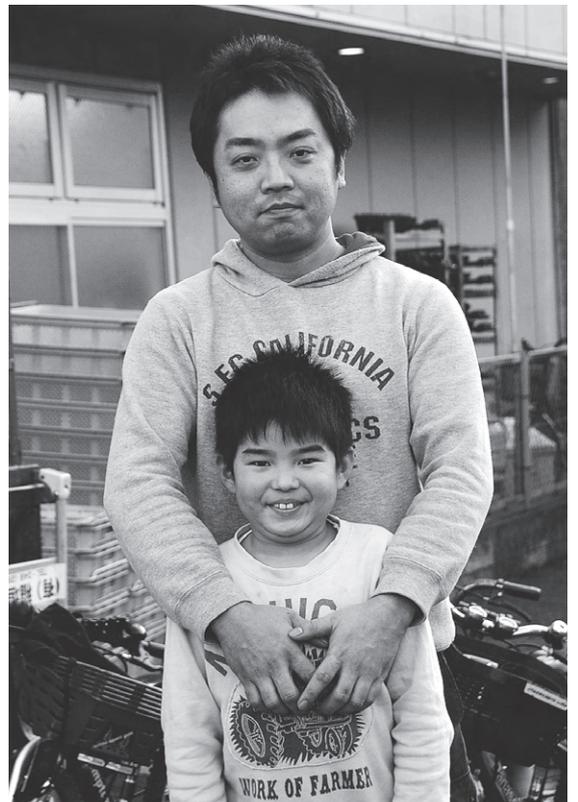


「いざ出陣！」（平成17年春の流鏑馬）



「お父さん、矢取りさんといっしょに」（平成17年春の流鏑馬）

写真提供 稲垣博也さん



「秋の流鏑馬の乗り子もしたい」と語る結平くんと父親の博也さん

## 平成17年春の流鏑馬の乗り子

稲垣結平くん（8歳）

父 稲垣博也さん（毛呂本郷）

## 乗り子に選ばれて

「息子が春の乗り子をしてから、もう5年も経つんですね」と博也さんは懐かしそうに振り返る。当はまだ3歳であった結平くんが乗り子をするに多少の不安があったという。「馬に乗れるかが心配でした。乗り子に選ばれる前に息子を馬に乗せてみたのですが、馬を怖がってしまっって、乗ることができなかつたんですよ。しかし、父親の心配も杞憂きゆうに終わった。当日は、いざ馬に乗せるとあっさりと乗ることができ、堂々と乗り子を務め、立派に大役を果たした。

春の流鏑馬の乗り子ができる機会は当番区の関係で3年に1回である。「選ばれるかどうか分からなかったので、選ばれたときは本当に嬉しかったですね」と語る博也さん。結平くんが乗り子に選ばれたことに反対する人は誰もなく、親戚などから「よかったね」と祝福されたという。このことは、流鏑馬が地域に根付き、その乗り子を務めるということが「名誉」なことだとい証ともいえる。「乗り子を務めたことは息子にとっていい思い出になったと思いますよ」と温かい目で結平くんを見つめる博也さんの眼差しに脇で結平くん

が少し照れくさそうに微笑んでいる。

### 秋も乗り子に！

今、結平くんは弟と流鏑馬ごっこをしている。口取りや矢を射る真似をしているそうだ。「将来は秋の流鏑馬の乗り子になりたいな」。結平くんのなかに乗り子に対する意識が芽生え始めているようだ。「息子にはこれからも地元の色いろな行事に参加してもらいたいですね。できれば将来家業を継いでもらって、商店街や地元を盛り上げてほしいと思っています。そして、町の発展に貢献できる人になってもらいたいです」と父親としての素直な希望を語る。

### 健康で丈夫な子に

「息子には健康で病気にかからない丈夫な体に育ってほしいと思います」。子どもの成長祈願の意味をもつ春の流鏑馬は、親から子に対する願いでもある。現在、博也さんは「流鏑馬を守る会」に入っており、祭具作りなどを行っている。「これからも流鏑馬に携わっていきたいと考えていますが、できれば息子と一緒にできるようなになると嬉しいですね」と笑顔で語ってくれた。

### 平成22年春の流鏑馬の乗り子

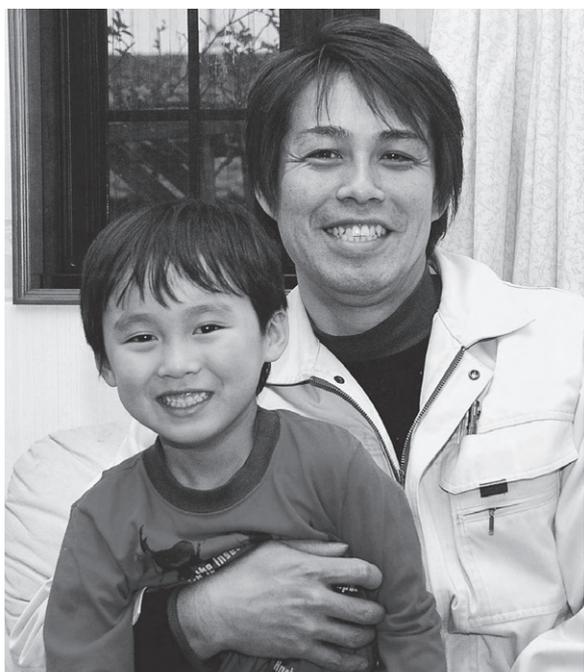
金子純平くん（5歳）

父 金子浩一朗さん（前久保）

「希望はしていたのですが、選ばれるとは思っていなかったのですが、驚いています。今になってやっと嬉しさが沸いてきました。流鏑馬の乗り子は乗りたくてもなかなか乗れるものではないですから」。そう語る浩一朗さんも秋の流鏑馬の乗り子をした経験があった。

### 「ぼく頑張るよ！」

純平くんは人見知りもなく、明るく元気な男の子である。浩一朗さん曰く「ちょっと弱虫なところがあるけれどやるときはやってく



「頑張る！」と力強く話してくれた純平くんと父親の浩一朗さん

れる子だと信じています。でも、まだ5歳なので道中飽きてしまわなければいいのですが」やはり親としての心配もある。それでも純平くん自身は「ぼく、頑張るよ！」だって、お馬さんのことも好きだしね」と目を輝かせた。「お友だちがたくさん見に来てくれると嬉しいな」と実に頼もしい。そんな純平くんをやりながら「自分子どもが乗り子をするときに流鏑馬に携わることができると、とても幸せなことです。本当に関係者の皆さんに感謝しているんです」と浩一朗さんは語る。家族や親類も喜んでくれており、知り合いなどに嬉しそうに乗り子になることを話してくれているという。

### 後見の立場と親の立場

現在、浩一朗さんは前久保で流鏑馬を執行する側の後見という役に就いている。「いつも流鏑馬では、お子さんを乗り子にしてくれる親御さんに心配をかけないように細心の注意を払って執行行っていたのですが、今年は自分が親の立場になるので複雑な心境なんです」と今の胸の内を語ってくれた。しかし役員一同は、浩一朗さんが後見も兼ねることを認めてくれた。「口取りなど皆、知っている顔ぶればかりなので安心して子どもを任せられるんですよ」と嬉しそうに語ってくれた。

### 伝統文化の継承を！

「今は、子どもがお祭りなどを体験することが難しくなっています。息子には地元の伝統ある祭りにもどもとして参加することで何かを感じ、成長してもらいたいと考えています」と温かい眼差しで純平くんを見つめる。「これからも流鏑馬に携わり、続けていくことでこの伝統文化を残していきたい」と流鏑馬について熱く語る浩一朗さんも「息子には元気に素直に丈夫に育ってもらいたいですね」と純平くんのことを語るときは、優しい親の目になる。

# 春の流鏝馬秘話

やぶさめ

## 春の流鏝馬と獅子舞

斉藤孝治さん（長瀬）

現在毛呂山町では、滝ノ入、大類、葛貫、川角の各地区の神社で、毎年秋に獅子舞が奉納されている。かつては町内の8か所で行われていた獅子舞も現在では4か所のみである。

### 獅子舞の記憶

「もう随分と昔のことになるのであまり詳しくは覚えていないのですが」と前置きの後に斉藤さんは語



り始めた。「昭和26年ごろであったかと思いますが、ささら獅子舞を春の流鏝馬のときに奉納しました。そのとき私は、中獅子で上演したことを記憶しています」。斉藤さんは、記憶を辿りながら話を続けた。「獅子舞は、指導がとても厳しく、教えてもらうほうも真剣に取り組まない」と、とても覚えることなどできませんでした」。懐かしそうにそのころの様子を語ってくれた。

### 流鏝馬の付祭り

明治12年（1879）の「八幡社例祭ノ節 流鏝馬獅子舞執行ニ付約定書」（平山家文書三二二四、県立文書館委託）に、八幡宮の例祭において流鏝馬と併せて、氏子である五つの村で順番に獅子舞を行う旨の記述をみることができる。このことにより、出雲伊波比神社の春の流鏝馬において、明治12年には獅子舞が奉納されていたことがわかる。

獅子舞は以前、流鏝馬祭りの付祭りとして奉納されていたと思われる。その後付祭りは、獅子舞ではなく神楽やお囃子になったと考えられているが、獅子舞の起源については、

今のところ詳しいことはわかっていない。

### 出雲伊波比神社蔵の獅子頭

また、出雲伊波比神社には古くから獅子頭が所蔵されている。獅子頭の入っている箱には、表に「鎮守八幡大神 禮祭道具 七ヶ村 惣氏子中 明治五年 壬申八月日」との記述があり、この獅子頭が明治5年に当時の氏子であった七か村から寄進されたことがわかる。

### 獅子舞の経験者

「当時獅子舞に使用した獅子頭は

通常のものより重たくて、大変だったことを記憶しています。若くないと、とてもできませんでしたね」と斉藤さんは笑いながら当時のことを振り返った。確かに出雲伊波比神社所蔵の獅子頭は重厚な作りである。斉藤さんが当時使用した獅子頭は出雲伊波比神社蔵のものであったのではないかと推測される。

「普段とは違う場所で獅子舞を行ったので、緊張したけれど、夢中で舞った記憶があります」。そう語る斉藤さんは、今となつては貴重な春の流鏝馬における獅子舞の経験者のひとりであるといえる。



出雲伊波比神社に伝わる「獅子頭」

（出雲伊波比神社蔵）

# 春の流鏑馬と木村家

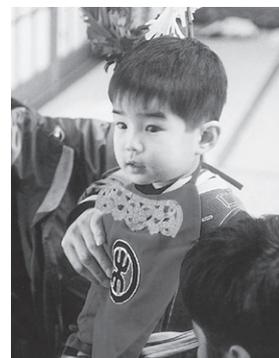
渡辺幸子さん（毛呂本郷）

春の流鏑馬で乗り子が使用する陣羽織と胸懸、矢取りが使用する半天には木村家の紋がついている。

木村家は代々毛呂氏に仕え、毛呂氏居城の大手門の東側に居宅を構えていたことから屋号が「大手東」と呼ばれ、その後「大東」と呼ばれるようになったという。

木村豊三郎さん

豊三郎さんは渡辺さんの曾祖父にあたる人である。慶応から明治期にかけ豊三郎さんは、地元であ



木村家の紋の入った胸懸（写真提供 稲垣博也さん）

る岩井でも有数の名家で広大な土地を持つていたといわれている。「曾祖父は、世話好きとして有名で、頼まれると断われない性格であったと聞いています。村のこと、とくに流鏑馬に対しても一生懸命取り組む人でもあったそうですよ」と渡辺さんは少し懐かしそうに語り始めた。「確かに春の流鏑馬で使われている陣羽織や胸懸などに入っている紋は木村家のものですね。曾祖父は、流鏑馬に対しても熱心であったので、木村家で陣羽織や胸懸、半天を奉納したのではないかと思います」と渡辺さんは教えてくれた。渡辺さんが幼少のころ母親に連れられて、春の流鏑馬を見学に行ったとき「あの家紋はうちのものです、あの陣羽織はうちで奉納したものなのよ」と話してくれたという。

「オカイドリ」

「打掛」を別名「搔取」という。打掛は裾が長いので、廊下などを歩くときは両裾を掻い取って引き上げ

るので搔取ともいわれた。春の流鏑馬で「オカイドリ」がいつからあらわれたのかは不明であるが、女性、とくに母親を表していると言承されている。また、古い「オカイドリ」の内側に「大正十三年二月廿一日奉納古式流鏑馬小袖 入間郡毛呂村大字岩井 寄付者 木村すけ子」と記されている。

木村すけ子さんについて、渡辺さんは次のように語ってくれた。「木村すけ子は、私の伯母にあたります。しかし伯母は私が幼少のころ逝去したので伯母に対する記憶やその当時の記録は残っていないのです。実のところ本当に伯母が奉納したのかどうかは定かではないのです。しか

しながら大正期以降、春の流鏑馬において「オカイドリ」が使用されていることは事実である。

先祖は誇りです

「今でも陣羽織などに家紋が使われていることは、素晴らしいことですし、先祖のことは誇りに思っています。ただ会ったことのない曾祖父の話なので、物語でも聞いていようかな不思議な感覚です」と今の気持ちを語ってくれた。「春の流鏑馬が毎年続けられていることは、本当にありがたいことに思います。今年は久しぶりに見に行ってみたいと思います」と渡辺さんは笑顔で語ってくれた。



「オカイドリ」と呼ばれる小袖（資料提供 出雲伊波比神社やぶさめ保存会）

# 春の流鏝馬縁起 やぶささめ

出雲伊波比神社第25代宮司

紫藤正臣さん

## 宮司とごう職について

「昭和55年に奉職して以来、氏子の皆さんに支えられ務めさせていただいております。現在は、出雲伊波比神社のほか町内の9社を奉務しています。平成11年に宮司に就任してからは、関東以北において最古の神社建造物であり、町内唯一の国指定重要文化財である本殿を中心とする由緒ある神社を守ることに細心の注意を払って務めています」。静かな語り口で紫藤宮司は話し始めた。



「宮司をしていますととお祭りや年末年始が季節的に忙しいので大変ではありますが、初詣など多くの皆さんが参拝に訪れ、信仰心を実感できることを嬉しく思います」。参拝に訪れる人を見ることが宮司としての喜びであるという。神社を守るにあたって「氏子の方がたから崇敬をいただき、氏子の皆さんが幸福になってくれることが喜ばしいことです。そしてそのことで神社の発展に寄与できれば、神社を守るということに繋がると思っています」と語ってくれた。



本殿脇にある天神地祇社（旧八幡宮）

## 春の流鏝馬の変遷

かつて、出雲伊波比神社の流鏝馬は、旧暦8月15日に八幡宮に、旧暦9月29日に飛来大明神に奉納されていたことが文献でわかって

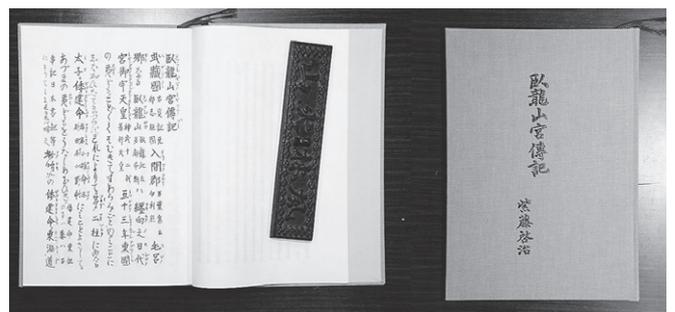
いる。八幡宮とは、本殿の脇に鎮座している社のことで、現在は、本殿に合祀されており、天神地祇社として鎮座している。また、飛来大明神とは現在の本殿にあたる。8月15日に行われていた八幡宮の流鏝馬は、明治20年代には一旦姿を消し、大正時代になって2月の八幡宮春の流鏝馬として復活し、昭和7年からは3月15日出雲伊波比神社の春祭の流鏝馬と変更された。その後昭和36年から昭和50年まで中断していたが、昭和51年に再開され、今では毎年3月第2日曜日へと変更された。

「春の流鏝馬の見所は、秋の流鏝馬とは内容が違い、小さな男の

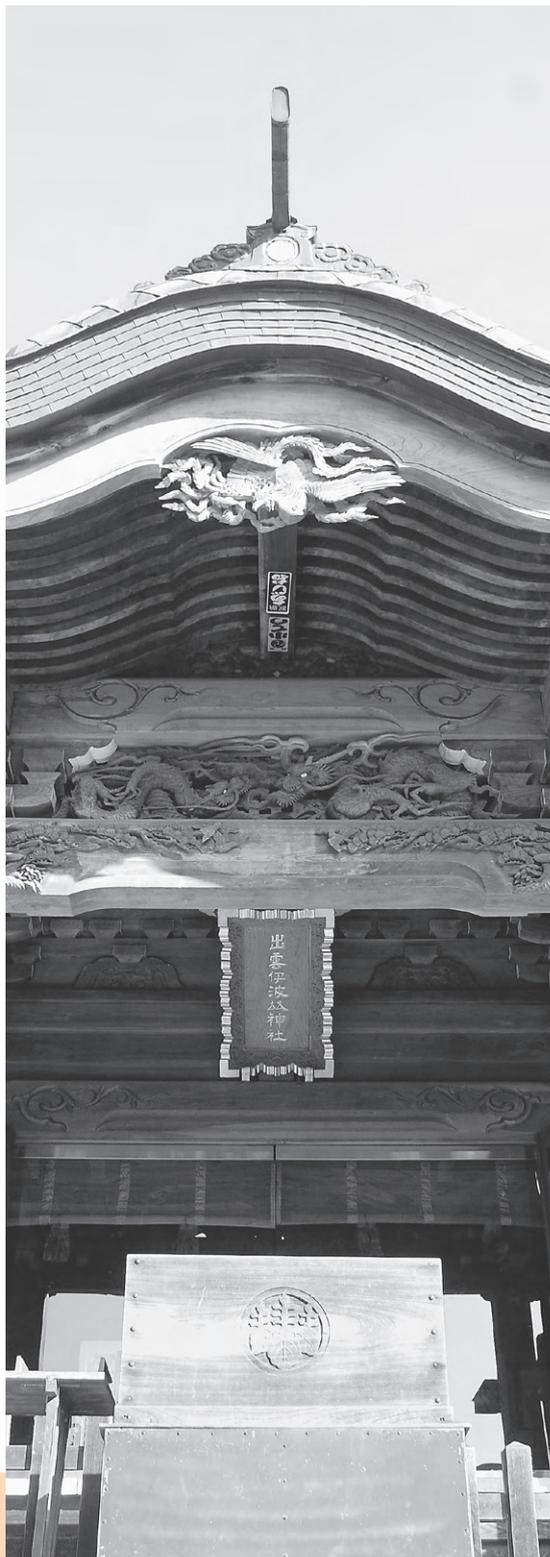
子が乗り子であること、そしてオカイドリが乗り子についていくところですね」と紫藤宮司は笑顔で語ってくれた。

## 「臥龍山宮傳記」

出雲伊波比神社には「臥龍山宮傳記」という書が伝わっている。これは文政8年（1825）に藤原朝臣義彦（齊藤義彦）によって著された神社の由緒を記した書である。そのなかに八幡宮の流鏝馬についての記述がある。毎年、8月15日に八幡宮で流鏝馬を奉納していることや、その内容として、的を三か所にたて鏝矢を射ると



「臥龍山宮傳記」（紫藤啓治氏編）



【参考文献】  
 『臥龍山宮傳記』紫藤啓治編、『流鏝馬のきたみち―県内流鏝馬の分布と伝承―』二階堂実、『86毛呂の流鏝馬』埼玉県立民俗文化センター、『さきたま文庫』65 出雲伊波比神社『毛呂山』内野勝裕、『国指定重要文化財建造物 出雲伊波比神社本殿』宮司 紫藤啓治、『延喜式内出雲伊波比神社 古式流鏝馬祭』出雲伊波比神社社務所、『出雲伊波比神社由緒』出雲伊波比神社社務所、『出雲伊波比神社の「春の流鏝馬」』出雲伊波比神社社務所、『第1回特別展毛呂の流鏝馬』毛呂山町歴史民俗資料館、『第15回特別展やぶさめ紀行―毛呂の流鏝馬 児のやぶさめ―』毛呂山町歴史民俗資料館

いったことが記されている。文政年間において、出雲伊波比神社の流鏝馬は年に2回行われていたことが「臥龍山宮傳記」をとおして読み取ることができる。

### 「オカイドリ」の説話

「オカイドリ」は乗り子を守る母親の象徴であるとされている。出雲伊波比神社には「品陀和気命（応神天皇）の御母、息長帯比売命（神功皇后）が臥龍山に鎮まる我が子を思い火となって飛んできた」という説話が残っている。「オカイドリ」が乗り子に付き従う詳しい意味は不明であるが、この説話は、3歳で即位したといわれる八幡宮の祭神である応神天皇を母宮である神功皇后がお守りしている姿を

暗示しているともいわれている。

### これからの流鏝馬

「流鏝馬は、毛呂山町に940年以上も脈々と続けられてきた伝統ある行事です。伝統行事を継続することは大変なことですが、伝統文化を継承する人が少なくなりつつあることは残念なことですね。この伝統が途絶えないように皆さんで協力していつてもらえればありがたいと思っています」流鏝馬の継承について多少の不安を覚えていたようだ。

また紫藤宮司は流鏝馬についてもっと広く知らしめることも必要だという。「町内在住の人でも流鏝馬のことを知らない人がいるのではないのでしょうか。町外の人に

だけでなく、町内の人にももっと流鏝馬に興味を持ってほしいと思います。また流鏝馬は、まだまだ全国的に知られていないですね。流鏝馬の知名度を上げることは毛呂山町の知名度を上げることに繋がると思います」。

これからのことについて、紫藤宮司は「流鏝馬祭りは、今や毛呂山町を代表する祭りであるといえるのではないのでしょうか。そのような流鏝馬のある毛呂山町の神社に務められることを誇りに思い、これからも奉仕の気持ちを忘れずに務めて参りたいと考えています。そして今後も神と人との中取り持として宮司という役職を肅々と務めていきたいと思っています」と終始穏やかな表情で語ってくれた。

### 取材を終えて

地域の人たちの力によって支えられ、伝えられてきた流鏝馬祭りは、現在私たちの住む毛呂山町で最も代表的なお祭りであるといえます。この伝統的なお祭りを後世へ伝えていくことは現代を生きる私たちの使命であるともいえるのではないのでしょうか。流鏝馬祭りに直接携わらなくとも、見に行くことで、また知ってもらおうとすることで、流鏝馬祭りの伝承に貢献できるはずですよ。

今年の春の流鏝馬は、3月14日に行われます。皆さんで誘い合わせて、見に行ってみてはいかがでしょうか。

# 第18回 フォトグランプリ

毎年、中央公民館が開催しているフォトグランプリも18回目を迎え、今年は県内外から220点の応募がありました。「毛呂山町の新しい魅力を発見！」をテーマに、多くの人が毛呂山町を訪れ、四季折々の町の風景、皆の笑顔などをカメラに収めていました。

多くの応募作品のなかから、見事、賞を獲得した作品をご紹介します。



「落葉のじゅうたん」大谷木春男さん（大谷木）



## 選評および総評

グランプリの写真はとても明るく撮れている作品です。この明るさがなければ作品は生きてこないでしょう。人物の表情がとてもよく、足の位置も自然でまとまりがあり、道路の境界ブロックが全体のバランスをひきしめています。グランプリにふさわしい作品です。

今回の応募作品は全体的に力作が多く、入賞作品を選ぶのに苦労しました。このグランプリも回数を重ね、今回で18回目になりますので、次回は今まで気づかなかったような新たな町の魅力、表情を探し出してほしいと思います。たとえば他の人が選ばないような題材を選んだり、同じ被写体でも、時期や時間を変えて何度も通えば、新しい発見があると思います。

## 笑顔・ふれあいの部



「何かいいものもらえるかな？」  
ひでこ  
宮澤日出子さん（箕和田）



「土器土器体験」  
小林真佐雄さん（坂戸市）

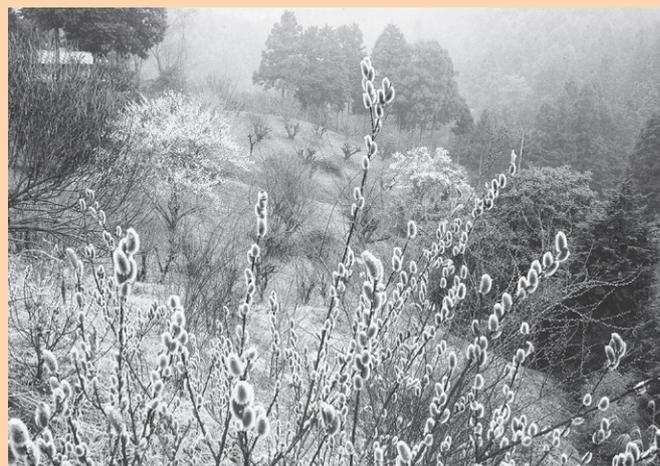


「かわいいよ」  
ゆきこ  
糸川之子さん（前久保）

## 風景・自然の部



「コスモス咲くころ」  
なかにわたえこ  
中庭妙子さん（坂戸市）



「花の里」  
さき  
中村咲さん（毛呂山台）



「晩秋のとき」  
かねます  
金益隆志さん（日高市）

# まつり・ イベントの部



「これぞマジック」 おくずみひでお 奥隅英夫さん (大類)



「ハートでタッチ」 武藤房子さん (第二団地)



「夜空の祭典」 なかにわたえこ 中庭妙子さん (坂戸市)

作品はこちらで見られます！

## フォトグランプリ&紅葉まつり 写真コンクール作品展示会

### フォトグランプリ展示会

#### 展示場所および展示期間

中央公民館 2月2日(火)～3月4日(木)

役場ロビー 3月16日(火)～3月25日(木)

東公民館 3月27日(土)～4月22日(木)

※中央公民館のみ全応募作品を展示します。

問合せ 中央公民館 ☎(294) 1250

### 紅葉まつり写真コンクール入賞作品展示会

#### 展示場所および展示期間

役場ロビー 3月1日(月)～3月15日(月)

中央公民館 3月16日(火)～3月26日(金)

東公民館 3月27日(土)～4月16日(金)

問合せ 役場産業振興課商工観光係

☎(295) 2112内線175

#### 【共通事項】

#### 展示時間

役場 午前8時30分～午後5時15分

両公民館 午前9時～午後9時

※最終日は、全て正午までです。

## フォトグランプリ その他入賞者

- 風景・自然の部
  - 入選 岡野 照彦 (西大久保)
  - 入選 小野寺秀男 (双葉団地)
  - 入選 小林真佐雄 (坂戸市)
  - 入選 根本 幸作 (毛呂山台)
  - 入選 福田 勲 (学園台)
  - 佳作 浅見 良男 (西戸)
  - 佳作 糸川 之子 (前久保)
  - 佳作 風間 吉雄 (小川町)
  - 佳作 栗原 勉 (下川原)
  - 佳作 宮澤 善洋 (箕和田)
- まつり・イベントの部
  - 入選 加納 澄子 (滝ノ入)
  - 入選 岸 健司 (川角)
  - 入選 渋谷由美子 (大師二)
  - 入選 竹下 仁人 (第三団地)
  - 入選 谷山まりあ (所沢市)
- ふれあい賞
  - 佳作 須長 幸男 (坂戸市)
  - 佳作 栗原 勉 (下川原)
  - 佳作 福田 勲 (学園台)
  - 佳作 小久保武文 (日高市)
  - 佳作 秋山 英子 (日化団地)
  - 入選 堀口 実 (大師一)
  - 入選 中庭 妙子 (坂戸市)
  - 入選 岸 健司 (川角)
- 笑顔・ふれあいの部
  - 佳作 小沢みつ子 (平山)
  - 佳作 中川 弘子 (古宮団地)
  - 佳作 堀口 実 (大師一)
  - 佳作 村田 良一 (平山)
  - 佳作 山崎 和子 (市場)

# 第10回

# 鎌北湖紅葉まつり 写真コンクール

## 観光写真の部



「秋彩の下」 福田勲さん (学園台)

## モデル写真の部



「楽しいひととき」 持田敏男さん (行田市)

## 風景写真の部



「朝日に輝く」 岸健司さん (川角)

昨年の11月22日に開催された『第10回鎌北湖紅葉まつり』に関連して、写真コンクールが行われました。212点の応募があり、紅葉まつりのモデル撮影会で撮影された作品を対象とした「モデル写真の部」をはじめとする3つの部門ごとに審査が行われました。各部門ごとに「毛呂山町観光協会会長賞」の作品を紹介します。

### 紅葉まつり写真コンクール その他の入賞者

- 観光写真の部
  - 毛呂山町長賞 片岸 良子 (毛呂山台)
  - 毛呂山町長賞 岸 健司 (川角)
  - 入選 宮澤日出子 (箕和田)
  - 入選 中村 咲 (毛呂山台)
  - 入選 大谷木春男 (大谷木)
  - 入選 大谷 正雄 (行田市)
  - 入選 小菅 正 (川越市)
  - 佳作 中庭 妙子 (坂戸市)
  - 佳作 石原 光次 (さいたま市)
  - 佳作 前川 菊男 (毛呂山台)
  - 佳作 山崎 和子 (市場)
  - 佳作 並木 久一 (東松山市)
- ゆず娘写真の部
  - 毛呂山町長賞 田中 昭八 (坂戸市)
  - 毛呂山町長賞 小林 雄三 (東秩父村)
  - 入選 吉沢千津子 (小川町)
  - 入選 堀口 実 (大師一)
  - 入選 落合 清 (小川町)
- 風景写真の部
  - 入選 小菅 正 (川越市)
  - 入選 対比地連吉 (群馬県)
  - 佳作 須山 祐次 (小川町)
  - 佳作 遠山 康男 (神奈川県)
  - 佳作 宮澤日出子 (箕和田)
  - 佳作 太田 信行 (川越市)
  - 佳作 栗原 恵一 (坂戸市)
  - 毛呂山町長賞 片岸 良子 (毛呂山台)
  - 毛呂山町長賞 中里 洋一 (坂戸市)
  - 入選 大谷木春男 (大谷木)
  - 入選 中村 咲 (毛呂山台)
  - 入選 中庭 妙子 (坂戸市)
  - 入選 小林真佐雄 (坂戸市)
  - 入選 遠藤 孝義 (第二団地)
  - 入選 片倉 清 (茨城県)
  - 佳作 久保田好一 (秩父市)
  - 佳作 野島 慶一 (東京都)
  - 佳作 深谷 茂雄 (第二団地)
  - 佳作 福田 勲 (下川原) (敬称略)

# 目指す学校像

- 子ども一人一人のよさを認め、大切に育てる学校
- 心遣いが見える開かれた学校

E-mail moroyamajhs@nifty.com

URL http://homepage2.nifty.com/morojhs/morojhs/

(ブログ http://blog.goo.ne.jp/moroyamajhs/)



## 毛呂山中学校

### 生徒が主役！ 毛呂中の学校行事

毛呂山中学校は、学校教育目標である「自ら学び、仲良く協力し、くじけない生徒」の育成を目指し、開かれた信頼される学校づくりを目指しています。

本校は、積極的に学校の様子を発信するために、ブログや学校だよりなどを定期発行しています。さらに、保護者や地域の皆さんの深いご理解と温かい支援に支えられ、生徒はいきいきと学習に取り組んでいます。

今年度は、生徒の「自治の力の育成」のために、「生徒が主役の学校行事づくり」を目指し、生徒一人ひとりが輝き、真剣に取り組める機会を数多く設定しています。今回は、本校がこれまでに取り組んだ「生徒が主役の行事」をいくつか紹介します。

#### 委員長が熱く語った体育祭

体育祭を目前に、生徒会体育委員会主催の生徒朝会が行われました。そこでは、体育委員長が「体育祭を成功させたい」想いを自分の言葉で、しかも原稿なしで、全校生徒に熱く語りかけました。体育祭当日は五月晴れのなか、委員長の言葉に心を揺さぶられた全ての生徒が、自

分の持てる力をすべて出し切り、勝負に勝って抱き合う姿あり、想い届かず涙ぐむ姿あり、見ている人たちに多くの感動を与えてくれました。



委員長による選手宣誓  
熱いメッセージが五月晴れの空に届け！

#### 『より良い人間関係を築くために』ピア・サポートを始めました！

上手に人間関係が作れない子、自分の気持ちを伝えられなくてキル子どもが増えていきます。本校にも同様の現実がないとはいえません。

そこで今年度から、「ピア・サポートプログラム」を始めました。これはカナダではじまった取組で、人間関係を良好にするための学習をゲーム感覚で行うものです。全校生徒の希望者30数人が、放課後の時間を活用して学習してきました。

この取組は、リーダー育成も目指しており、生徒会本部役員

や各クラスの学級委員なども積極的に参加しています。参加している生徒たちは、本プログラムで学んだスキルを生かし、自分自身の「人間関係能力の向上」とともに、クラスや学年のリーダーとして活躍しています。

#### 『クラスの絆』熱い想いが詰まったハーモニーでした！

行事に関しては、どの学年よりも団結し、熱く燃える3年生合唱コンクールの本番を迎えるまでのプロセスも立派でした。朝、昼、そして放課後と短い時間を利用してクラス一丸となって真剣に練習し、きれいなハーモニーを響かせていました。

放課後の下級生との練習では、「後輩に自分たちの想いを伝えたい」というメッセージも感じられました。



円陣を組んで、いざ出陣！

本番の合唱は、本校の歴史に残る感動的なものでした。福祉会館の壁が、天井が、ピリピリと震える…そんな勢いを感じる合唱でした。一番間近で聴いていた1年生にとっ



感動のハーモニーが  
会館内に響いていました！

コンクール実行委員によるクラス紹介の場面では、体育祭での体育委員長の熱いメッセージを見習って、1年生も3年生も原稿を見ず、自分の言葉で語りかけてくれました。

2年生は、新型インフルエンザの影響で、後日学校の体育館での開催となりました。音響効果の期待できない空間でしたが、多くの保護者の皆さんの参加のもと、子どもたちの「やる気」で見事な合唱を響かせてくれました。

## 児童館へ行こう

☎(295)4111

3月の休館日 毎週日・月曜日

### ■遊びにおいでよ！ ぴよんぴよん広場

日時 3月3日(水)、17日(水)、24日(水)  
午前10時30分～11時30分  
対象 2歳からの子とその保護者  
内容 体操・工作など(申込み不要)  
持ち物 親子とも上履き

### ■よちよち広場

日時 3月12日(金)、26日(金)  
午前10時30分～11時30分  
(受付は午前10時15分～10時30分)  
対象 1歳4か月からの子とその保護者  
内容 自由遊びなど(申込み不要)  
持ち物 親のみ上履き  
※お母さんの話相手や、幼児と遊ぶボランティアを募集しています。

### ■おやじ広場 ～アウトドアでパンを焼こう～

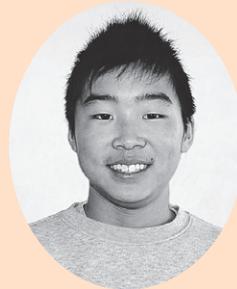
日時 3月27日(土)  
午前9時30分～  
内容 アウトドアでパンを焼こう  
対象 幼児・小学生とそのお父さん  
費用 1人150円  
定員 先着10組  
申込み 3月2日(火)から、児童館に費用を添えてお申し込みください。



※雨天の場合は室内で行います。

## ほくらのキャンパス

333 毛呂山小学校



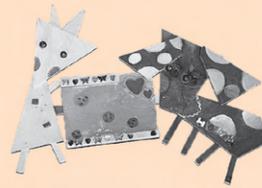
6年 あきは ゆうた 秋葉 裕太くん



「21世紀の土器」



4年 むかい あいみ 向井 愛美さん



「犬ときつねの おくりもの」



5年 あらい かいと 新井 海斗くん



「くじらのおやこと 魚たち」

## 図書館へ行こう

3月の休館日 毎週月曜日、31日(水)(月末整理休館日)

☎(295)1015

### 貸出点数(貸出期限)

図書・雑誌・紙芝居など  
1人10点まで(3週間)  
ビデオ・CD・DVD・カセット  
1人3点まで(1週間)



### ■子ども映画会

日時 3月13日(土)  
午後2時～3時  
定員 先着50人  
内容 「学校の怪談 せんりつ 戦慄の学校編」

### ■おはなし会

日時 3月27日(土)  
午後2時～2時30分  
内容 おはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居など  
対象 1歳から小学生まで。  
小さなお子さんは、保護者同伴でご参加ください。

### ■本の紹介

『風邪とごはん』 渡辺 有子/著 筑摩書房/出版

「風邪をひきそうとき、本格的にひいたとき、回復してきたときなど、体調の悪いときに、温まって体力をつけるためのレシピが充実。梅やゆずの保存食も」



『大きな木のような人』 いせ ひでこ/作 講談社/出版



「パリの植物園で、あちこちに出没しては、植物学者の「わたし」や庭師を手こずらせる少女。植物の絵が全編をみずみずしく彩っています」

# わだいの特選

カメラルポ

## 社 第54回成人のつどい 社会に羽ばたけ！ 新成人



1月10日、『第54回成人のつどい』が開催されました。今年の成人のつどいの出席者は、初めて参加者全員が平成生まれになり、式典の最後には「平成生まれ万歳」と書かれたくす玉が割られました。

こうした企画は全て新成人が自ら企画・運営委員となって行ったもので、今年度は14人の委員が、思い出の写真の上映や、恩師への花束、手紙の贈呈など、心温まる企画を準備しました。

式典が終わった後も、新成人たちは名残惜しうに、同級生たちとおしゃべりをしたり、舞台上のくす玉や看板の前で記念撮影をしていました。

## 私 消防団出初式 たちの町を守るために

1月10日、越生町中央公民館で出初式が行われました。毛呂山町、鳩山町、越生町の消防団員が参加し、管理者などによる閲団や機械器具点検、防災航空隊の上空広報などが行われました。

この日は、消防車に乗ることができたり、消防団員が手作りした焼きそばや豚汁の無料配布なども行われ、会場は親子連れなどでにぎわいました。

消防団は今年も地域住民が安心して暮らせるように厳しい訓練に励みます。



## 福 保育園の豆まき よ来い！ 春よ来い！

2月3日、節分の日に町立保育園で豆まきが行われました。鬼が教室に入ってくると、怖くて泣き出してしまう子や、一生懸命豆をまく子と様ざまでしたが、豆まきが終わるとみんなで仲良く、豆を食べました。1年に1回の恒例行事ですが、参加した子ども達にとって、とても楽しい思い出になったことでしょう。



▲上町保育園の豆まき

## お 冬の遊び会 いしくて、楽しくて！



1月16日、青少年相談員による『冬の遊び会』が開催されました。お兄さん、お姉さんに手伝ってもらいながら、子どもたちは、まずマドレーヌとカレーライス作りに挑戦しました。皆で材料を切ったり、計ったりしながら、一生懸命作った料理は、とてもおいしくできて、お昼の時間は笑顔と笑い声がこぼれました。

お腹がいっぱいになった後は、出雲伊波比神社で「ドロケイ」や「だるまさんが転んだ」などをして遊び、冬の寒さを忘れる楽しい一日になりました。

# 子ども達に夢を与えられる選手になりたい！

武藤 祐太さん (Honda硬式野球部所属)

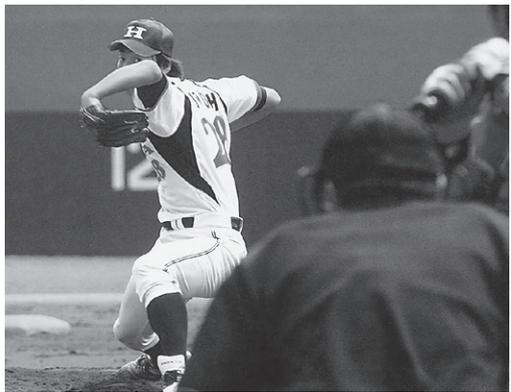
## 全国大会デビュー

平成21年11月18日、日本選手権で武藤さんは、京セラドーム大阪のマウンドに立った。Honda硬式野球部に入部して初めての全国大会の舞台である。「先発を伝えられた時はすごく緊張したのですが、いざマウンドに立つと不思議と緊張はありませんでした。普通に投げれば打たれないんだって自然と思えました」。結果は、9回1失点の完投勝利。堂々とした全国大会デビューであった。

## 心の成長

武藤さんが野球を始めたのは小学6年生であった。最初は投手、中学生のころは内野手、そして高校に入学してから本格的に投手に専念した。しかし、1、2年生のころには試合で勝てなかった。「当時は、自分が投げているときに野手がエラーをすると、顔に出してしまったり、負けている試合はすぐにあきらめてしまったりしたんです」。2年の夏の大会が終わったときに監督から練習をすること、ボールに触ることを禁じられた。そのかわりに自分の心を磨くことを目的にトイレの掃除と

とっては全国大会の雰囲気を感じるいい経験になったという。



力投する武藤投手

## 「感謝」の気持ち

「今年の目標は、都市対抗野球の連覇です。そして主要な大会には全部投げるつもりで頑張ります」と力強く語ってくれた。そのために連投に耐えられる体作りをしていくそうだ。「野球の練習は、自分のためだから苦しくないんです。野球ができません」。野球をとおして学んだ多くのことが人間的な成長につながっ

ている。「同僚の先輩投手のように人間的に皆から慕われる選手になることが目標なんです。言葉には出さなけれど自分の投げている姿で皆を引っ張れる投手になりたいです」と強く語る。「今、野球ができるのは支えてくれた皆さんがいてくれたからです。そんな周りの人やチームメイト、チームのスタッフ、会社の人、全ての皆さんに感謝の気持ちを忘れずに野球に取り組んでいきたいと思っています。常に感謝の気持ちを持ってマウンドに立っている。



武藤 祐太さん

毛呂山小・中学校、飯能南高等学校を卒業後、平成20年Honda硬式野球部に入部

投手／右投げ右打ち  
09日本選手権優秀賞獲得  
09社会人野球埼玉県野球協会新人賞獲得

Honda硬式野球部2009年の主な成績  
第80回都市対抗野球大会優勝  
第36回日本選手権大会準優勝

「将来の夢は、プロ野球選手になって野球をする全ての子ども達に夢を与えられるような選手になることなんです」。今年も武藤さんの熱い思いが込められた速球は、キャッチャーミット目がけて投げ込まれる。

# 毛呂山歴史散歩 203

流鏑馬サミット  
参加団体の紹介①

## 梅山八幡神社の流鏑馬 (静岡県袋井市)



従陸掃の騎射

遠州・袋井の気候と風土  
袋井市は人口8万7千人、東西約15キロメートル、南北約17キロメートル、面積は約108平方キロメートルで、毛呂山町の3倍に達します。江戸時代には東海道の江戸から数えて二十七番目の宿場町として栄えました。周辺には掛川、吉田といった茶処がありますが、袋井市の浅羽地域は全国的なメロンの産地として知られています。太平洋に面した袋井市は、日照時間が長く、年平均気温が16から17度と穏やかですが、冬は「遠州の

地域の人たちによって守られ、受け継がれてきた伝統文化「流鏑馬」。本年10月31日(日)から11月3日(祝)に毛呂山町において日本初の「やぶさめサミット」が開催されます。それに先駆けて当コーナーではサミットに

参加をする近県8団体の流鏑馬を毎月紹介していきたいと思えます。第1回は静岡県袋井市梅山八幡神社の流鏑馬です。

静岡県は、現在でも流鏑馬が数多く行われている地域の一つで、現在の流鏑馬処といっても過言ではありません。とくに浜名湖に程近い湖西市内では3か所の神社で流鏑馬が行われています。

空つ風」と呼ばれる冷たい季節風が吹くため、実際の気温よりも肌寒く感じるといわれます。



的馬(左)と従陸掃(右)

### 梅山八幡神社の稚児流鏑馬

袋井市の流鏑馬は、旧浅羽町の梅山地区で行われます。かつては浅羽地区の浅岡八幡、八幡八幡、そして梅山八幡の「浅羽三社」それぞれで流鏑馬を執行していましたが、現在では梅山八幡神社の流鏑馬だけが行われています。

毛呂山町で行われている流鏑馬は、幼児や小中学生が乗り子として登場しますが、梅山八幡神社の流鏑馬も小学生が騎乗しています。

### 的馬と従陸掃

梅山八幡神社の流鏑馬では2人の射手が登場します。

1人は黒い衣装に身を纏った「的馬」、もう1人は華やかな衣装の「従陸掃」です。ともに顔には化粧を施します。

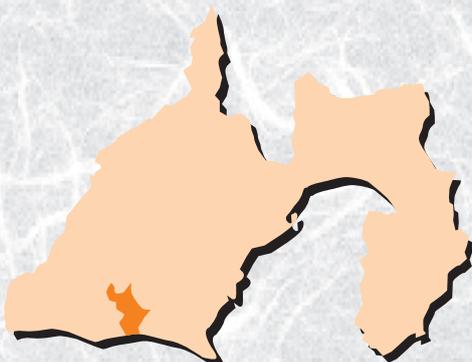
馬場には3つの的が設けられ、的馬、従陸掃が歩く馬の上から3回ずつ騎射を行います。的は薄く細長い

板を広げたもので、的に矢が命中すると馬場に詰め掛けた観衆から大きな拍手と歓声が上がります。

### 中断から復活へ

梅山八幡神社の流鏑馬は、昭和19年を最後に昭和時代は一度も行われなくなることなく時が過ぎていきました。長い中断の後、平成2年、実に46年ぶりに流鏑馬が復活しました。旧浅羽町が人口増加期を迎え、転入者の地域への関心が旧住人とのコミュニケーションを生み、かつてのお祭りの形を踏襲しつつ、新しい要素を入れながら復活したのです。復活から20年を経た今では、すっかり地域のお祭りとして定着しました。

流鏑馬当日は、この地方で多く見られる二輪の「山車」も繰り出し、華やかで見ごたえがあります。



静岡県袋井市



小学生の間伐体験

## 緑を守るために④

森林は長い歴史のなかで、生活の糧<sup>かて</sup>を生み出してくれる場として、また木材、燃料資源を供給する場として人びとの生活にはなくてはならない存在でした。しかし、昭和30年代以降、社会経済情勢や生活習慣が大きく変化し、人が森林に接する機会が減少するとともに、森林を守り育ててきた林業や山村が大きく衰退するようになりました。

越生町は、町土の約7割を森林が占めています。そのなかで、同町のほぼ中央に位置する約107ヘクタールの区域に「越生ふれあいの里山」があります。

「越生ふれあいの里山」は、売却方針が出されていた西山国有林66ヘクタールを埼玉県が森林として保全活用を図るため、平成8年度に取得しました。当初は桜をテーマとした「さくらの郷整備事業地」に位置づけられていましたが、平成15年度に計画の大幅な見直しが行われ、平成16年に隣接する町有林41ヘクタールを併せ、名称を「越生ふれあいの里山」とし、整備活用基本計画を作成、平成17年に整備活用実施計画が作成されました。

基本計画では「森林と人との共生のモデル林」として位置づけ、数百年といった長い視点で、総合的な自然環境の保全に留意しつつ、森林整備を行いながら、森林との様ざまなふれあいの場を提供し、活用を図っています。平成19年度には「越生ふれあいの里山クラブ」が発足し、里山内の間伐や歩道の整備などの活動をしています。また、体験学習として地元小学生に間伐体験を実施するなど、子どもたちがさまざまな体験ができる環境教育の場としても活用されています。

近年、人びとが自然景観とのふれあいや自然に対しゆとりとやすらぎを求める傾向にあります。今後も森林の保全と育成を図りながら、森林とうまく共生できるよう努めてまいります。

いずもいわい

## 出雲伊波比神社『春のやぶさめ』



☎ 歴史民俗資料館 ☎ (295) 8282、☎ (295) 8297

出雲伊波比神社の春まつりは、毎年3月の第2日曜日に行われています。午前の式典にはじまり、お囃子<sup>はやし</sup>の奉納も行われます。午後からは、前久保地区の皆さんによる『春のやぶさめ』が奉納されます。春のやぶさめは、秋のやぶさめと異なり、3～6歳の幼児が乗り子<sup>がんぼと</sup>となって、馬場に据え付けられた的の前で一本の矢を射る『願的』という神事のみが行なわれます。



### かわいいポニーに乗ってみよう

かぶと  
兜をかぶってポニーに乗ることができます。

時間 午前11時～午後1時30分  
 定員 100人  
 対象 3歳～小学生 料金 200円  
 主催 やぶさめ保存会

**と き** 3月14日(日) 午後1時30分  
 付祭り(当番区 毛呂本郷)は  
 午前10時から

**場 所** 出雲伊波比神社

# INFORMATION お知らせ

毛呂山町役場

☎ (295) 2112  
FAX (295) 0771

## 公共施設電話案内

■中央公民館	☎ (294) 1250
■東公民館	☎ (295) 2277
■歴史民俗資料館	☎ (295) 8282 FAX (295) 8297
■総合公園体育館	☎ (294) 7179
■福祉会館(社会福祉協議会)	☎ (295) 3111 FAX (295) 7258
■保健センター	☎ (294) 5511

日……日	時……時	場……場	所……所
定……定	員……員	対……対	象……象
料……料	金……金	費……費	用……用
申……申	込……込	問……問	合……合
電……電	話……話	番……番	号……号
フ……フ	ァ……ァ	ク……ク	ス……ス
電……電	子……子	メ……メ	ール……ール
ホ……ホ	ーム……ーム	ペ……ペ	ージ……ージ
ア……ア	ド……ド	レ……レ	ス……ス

毎月末の土・日曜日は  
納税・納入窓口を開設しています

## 税金

休日納税窓口	3月27日(土)・28日(日) 午前9時～午後3時
夜間納税窓口	3月31日(水)午後8時まで
場・問	税務課納税係 ☎内線193・194

## 介護保険料

・長寿医療(後期高齢者医療)保険料	
休日納入窓口	3月27日(土)・28日(日) 午前9時～午後3時
内容	保険料の納入、口座振替の申込み(通帳と銀行届出印が必要)、納入相談
場・問	高齢者支援課保険料係 ☎内線158・159

## 子育て支援室をご利用 ください

子育て支援室は、子育て中の親子に遊びや交流の場を提供するもので、予約なしで利用できます。親子の遊びや仲間づくりに、ぜひ遊びにきてください。

☐ 週3日(原則として月・

水・金曜日)午前10時～午後3時(正午～午後1時は

休み)

☐ 東公民館保育室他

※詳しい日程はお問い合わせください。

☐ 役場子ども課子育て支援

☎内線114

## 有善鳥獣の捕獲を行います!

☐ 3月20日(土)～4月25日(日)

内容 イノシシ・ハクビシン  
などの捕獲

区域 滝ノ入、阿諏訪、大谷

木、宿谷、権現堂、葛貴、  
小田谷、毛呂本郷の一部地  
内(調整区域)

※捕獲については、おもに土

日曜日に実施します。銃・箱

わなを使用しますので、くれ

ぐれもご注意ください。  
☐ 役場産業振興課農林係 ☎  
内線171・172

## 歴史民俗資料館サーク ル作品展

当館の協力団体である藍染めサークルと歴史と書道の会の1年の成果を展示します。

■藍染めサークル作品展

日にち 3月12日(金)まで

■歴史と書道の会作品展

日にち 3月17日(水)～4月11  
日(日)

【共通事項】

時間 午前9時～午後5時

☐ 歴史民俗資料館

☐ 歴史民俗資料館 ☎295

1-8282

## ごみと資源の出し方

事業系ごみは、会社や工場、商店などが事業活動を行うことにより排出されるごみで、専門業者に処理を依頼するなど、自らの責任で処理することが法令で定められています。事業系ごみのうち、生ごみや紙くず、びん缶などの組合で処理できる一般廃棄物については、自ら組合へ直接搬入するかまたは、許可業者へ委託することにより有料で処理

することができます。

集積所は、地域の皆さんが管理し家庭系ごみのために使用していますので、事業活動に伴うごみを出すことは法令違反となり、罰則の対象となります。

☐ 埼玉西部環境保全組合高倉クリーンセンター ☎271-1500、川角リサイクルプラザ ☎294-4115

## 『埼玉県議会フォトコンテスト』作品募集

県内での撮影に限ります。

締切り 3月12日(金)必着

応募・問 県議会事務局政策

調査課広報担当 ☎048-

830-6257、HP <http://www.pref.saitama.lg.jp>

3月の休館日	6日 7日 13日 14日 20日 21日 22日 27日 28日
ゲートボール	1日 8日 29日
パタンク	15日
声を出す会	3日 17日
謡 寿 会	9日 16日
民踊同好会	8日 29日
俳句の会	12日 26日【季語 春疾風(はる はやて、水草生う(みくさおう)】
囲碁・将棋の会	5日 10日 12日 17日 24日 26日
お茶の会	5日 19日
菫会(お花)	8日 29日
ダンス同好会	19日 26日
さんれい会(大正琴)	5日 19日
三味線・民謡の会	4日 11日
手芸の会	10日 24日
カラオケ同好会	5日 12日(厚年カラオケ) 25日
吟友会	10日 24日
書道の会	10日 24日
舞わかば会	10日 24日
フォークダンス	(FDカトリア) 12日 26日
楓 会	11日
押し花の会	8日
光華の会	8日 29日

山根荘は、町内在住で60歳以上の人でしたら、どなたでも無料でご利用になれます。

※行事日程などについては、都合により変更する場合があります。

※上記の趣味の会に入会を希望する人は、次のところまでご連絡ください。

問 老人福祉センター山根荘  
☎(294) 5545

リサイクル情報

●ゆずりたい品物

・五月人形一式(有料)、パイプベッド(折りたたみ)(無料)、フィットネスマシン乗馬器具(無料)、普通自転車、百科事典(相談)

●ゆずってほしい品物

・テレビ(小型)、スキーウェア(男性用)、キックボード

紹介したい品物がありましたら、お気軽にお申し込みください。また、交渉が成立した場合には、必ずご連絡ください。

掲載期間 3か月

申・問 産業振興課商工観光係 ☎内線 175

結婚・子育て支援資金  
融資制度のご案内

jp/s/gikai/

埼玉県では、結婚・育児・お子さんの教育資金にご利用いただける融資制度を設けています。

結婚・子育て支援資金融資制度一覧表

資金の用途	限度額	利率
結婚(本人または親族の結婚費用)	100万円	1.9%
育児(出産、医療費などの育児費用)	100万円	
教育(入学金、授業料などの教育資金)	200万円	

※別途、保証料(〇.7パーセント)が必要です。

※年収制限、勤務歴などの申込条件や中央労働金庫の審査があり、審査の結果、ご希望に沿いかねる場合もあります。※別途応急資金、失業資金も設けています。

申 中央労働金庫飯能支店にお申し込みください。

問 県勤労者福祉課 ☎048

—830—4518または中央労働金庫飯能支店 ☎042—973—2865

『改正育児・介護休業法』  
説明会

育児・介護休業法が改正され、平成22年6月30日に全面施行されます。改正法の趣旨および内容を理解いただくために説明会を開催します。

内容 育児・介護休業法の改正点、就業規則の改正にか

かる留意事項、助成金制度、個別相談についてなど

日 3月11日(木)午後1時30分

〜4時30分

場 熊谷市立文化センター文化会館

定 300人

問 埼玉労働局雇用均等室 ☎

048—600—6210

彩の国ロードサポート  
制度

県では、県道などの歩道で清掃や花植えを行う地域住民・学校・企業などのボランティア団体を募集しています。また、花植えを行う団体に花苗(年間4万円相当以上)を提供する企業も募集しています。

活動団体には、県と町が用具の提供、表示板の設置、ポ

ランティア保険の加入、収集後のゴミ処理などの支援を行います。

また、支援企業に対しては、企業名を入れた支援者表示板の設置などを行います。

問 県道路環境課 ☎048—

830—5103または飯能県土整備事務所 ☎042—973—0940

県公式携帯サイト『エキナ  
からくらく移動情報!』

階段やエレベーターの利用に最適な乗車位置など、駅の利用に便利な情報が満載です。

HP <http://www.mobile.pref.sai>

tama.lg.jp/?page=4845

問 県交通政策課 ☎048—

830—2228



QRコード

## 募集します

### 学校給食センターの臨時職員を募集します

**勤務内容** ①配送助手および調理員、②調理員

**勤務場所** 学校給食センター

(目白台4-3-4)

**募集人員** 若干名

**勤務日時** ①月曜日～金曜日

(午前8時30分～午後5時15分)ただし、1週間につき38時間45分以内とする。

②月曜日～金曜日(午前8時30分～午後3時30分)

**勤務期間** ①平成22年4月から9月、②平成22年4月から9月(8月除く)

**賃金** ①時給850円、②時給800円

**応募・問** 3月5日(金)午後5時までに履歴書(写真貼付)を学校給食センター☎294-2242に提出してください。

### 子育て支援室の臨時職員を募集します

**勤務内容** 子育て支援室を利用する親子に対する育児支援など

**勤務場所** 東公民館保育室他

**募集人員** 2人

**応募資格** 子育てに関する知識・経験を有する人

**勤務時間** 週3日(原則として月・水・金曜日)、1日5時間

**賃金** 時給800円

**採用予定** 4月

**応募・問** 3月12日(金)までに履歴書(写真貼付)を役場

子ども課子育て支援係☎内線114に提出してください。

### デイサービスセンター職員募集

**嘱託職員**

**職種** 生活相談員

**応募資格** 社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員のいずれかの資格を有する人(要普通自動車免許)

**勤務日時** 月～土曜日(週5日)午前8時30分～午後5時15分

**初任給** 大卒18万9千円(職務経歴などにより異なります)

**臨時職員**

**職種** 介護職員

**応募資格** 介護福祉士、ホー

ムヘルパー2級以上のいずれかの資格を有する人(要普通自動車免許)

**勤務日時** 月～土曜日(週3日)午前8時45分～午後5時

**賃金** 時給900円(2年目以降920円)

**【共通事項】**

**勤務場所** 毛呂山町デイサービスセンター(川角303-3)

**募集人員** 各1人

**採用予定日** 4月1日(休)

**応募・問** 3月12日(金)までに履歴書(写真貼付)および

資格証明書の写しを社会福祉協議会(福祉会館内)☎295-3111へ提出してください。

### 町税徴収事務嘱託員を募集します

**勤務内容** 電話による町税納付勧奨および内部事務

**勤務場所** 毛呂山町役場

**募集人員** 1人

**応募資格** 運転免許証を有し、パソコン操作に慣れている人

**勤務時間** 週2日、午前8時30分～午後5時15分

**賃金** 月額57000円

**採用予定日** 4月1日(休)

**応募・問** 3月1日(月)～12日(金)までに履歴書(写真貼付)

を役場税務課納税係☎内線198に提出してください。

## ご参加を

### 中央公民館「料理教室」

「おいしいパン&お菓子を作ります」

**日** ①3月4日(休)午前9時30分～正午、②3月11日(休)午前9時30分～正午

**場** 中央公民館調理室

**刈** 町内在住・在勤者

**定** 先着各15人

**参加費** 1000円(材料費)

**持ち物** エプロン・三角巾

**申** 2月23日(火)午前9時から参加費を添えて中央公民館にお申し込みください(電話・FAX不可)。

**問** 中央公民館☎294-1250

### 子宮がん予防教室

20代から30代の若いうちから子宮がんになる人が増えており、40代から50代で子宮がんの死亡者が増加しています。子宮がんの最新知識や予防

方法などについての教室を開催します。お気軽にご参加ください。

**日** 3月29日(月)午後1時30分～3時

**場** 保健センター

**料** 無料

**定** 先着30人

**対** 20歳以上の女性

**内容** 子宮がんの最新知識とその予防について

**講師** 埼玉医科大学国際医療センター医師

**持ち物** 筆記用具

**申・問** 2月26日(金)から保健センター☎294-5511に申込み(電子申請可)。

1に申込み(電子申請可)。

## ご相談を

### 入間西障害者相談支援センター出張相談

**日** 3月10日(水)午前10時～正午

**場** 役場相談室

**対** 障害(身体・知的・精神)のある人やその家族

**相談内容** 生活上の諸問題など

※申込み不要。直接会場へ。

**問** 役場福祉課障害福祉係☎

内線116・117、FAX2

95-2126

### 『指定障害者相談支援事業所』開所のお知らせ

平成21年12月より、障害者相談支援事業所が開所し、障害者への様々な相談支援を行っています。

**事業所名** トサポ相談支援センター(NPO法人トータルサポートネット)

**場** 川角612-8

**開所日時** 毎週土曜日・日曜日午前10時～午後4時まで

**内容** 生活全般・就労相談・情報提供・障害サービス利用計画・その他

**料** 無料

**対** 毛呂山町、越生町、鳩山町在住の人

**問** トサポ相談支援センター☎294-3261または、役場福祉課障害福祉係☎内線116・117、FAX295-2126

## 情報交換

### 手びねりの会『体験陶芸』参加者募集

素人陶芸は「重くていびつ」が普通ですが、そうならない

作陶法を教えます。しかも後日削り仕上げの必要がないので、1回で完成します。小学生以上の人ならできますので、ぜひ参加してください。

**日** 第1回▽3月10日(水)午後7時～9時、第2回▽3月12日(金)午後7時～9時

**場** 中央公民館工作室1

**料** /2500円(粘土代・釉薬代・焼成費含む)

**制作内容** /マグカップ

**申・問** /☎294-4976

佐々木(午後5時～9時)

### 養光保育園子育て広場

**日** /3月16日(火)午前10時～11時

**場** /養光保育園

**対** /未就園児の親子

**内容** /分室▽(0歳児)ペープサート、流

行の病気について、育児相談

本園▽(1歳児)手遊び、

パネルシアター、育児相談

**申・問** /前日までに養光保育園☎276-1473に申込み。

**場** /養光保育園

### 『フォークダンス合同初心者教室』参加者募集

世界各国の踊りを皆で楽しみながら仲良く活動していきます。心地良い汗を流しリフレッシュ、頭の活性化、さら

に仲間の輪を一緒に広げてみませんか。

**日** /3月10日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)午前10時～正午

**場** /中央公民館

**料** /無料

**問** /☎295-3978坂

**場** /フォークダンス・マーガレット

**日** /3月1日(月)、8日(月)、15日(月)、29日(月)午前9時～11時

**場** /東公民館

**料** /無料

**問** /☎295-0616西田

**場** /フォークダンス・たんぼ

新しいサークルです。

**日** /3月10日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)午後1時～3時

**場** /越生中央公民館

**料** /無料

**問** /☎294-6697岡

### 西入間青年会議所『まちな活性化勉強会』開催

「駅前」で届ける熱い想い。中華食堂日高屋会長にまちの活性化ビジョンを伺います。

**日** /3月24日(水)午後6時30分～受付、午後7時～開演

**場** /坂戸市勝呂公民館

**内容** /株式会社ハイティ日高代表取締役会長神田正氏の講演

**料** /無料

**問** /☎080-7044-2350菅原

## 新型インフルエンザワクチン予防接種費用の助成対象者の拡大について

☎ 保健センター ☎ (294) 5511

新型インフルエンザワクチン予防接種費用の助成は、これまで、子どもや高齢者などの優先接種対象者に行われていましたが、健康成人などの予防接種が開始されたことにより、これらの人も助成が受けられるようになりました。

	低所得世帯の人への助成（全額助成）		子どもへの助成（一部助成）
対象者	生活保護受給世帯の人	住民税非課税世帯の人	満1歳から中学3年生まで（接種日において）
助成金額	全額	全額	1回あたり1,500円（2回3,000円を限度）
助成方法	生活保護受給証を医療機関（※1）へ提示してください。	保健センターで <b>確認書</b> および <b>委任状</b> の交付を受けた後、医療機関（※1）の窓口を確認書を提示します。	医療機関（※2）の窓口にて、 <b>健康保険証</b> など、年齢の確認できる書類を提示し、助成額を差引いた金額を支払います。
実施時期	平成21年度限り（平成22年3月31日までに接種が終了した人）。		
償還払い	<p>助成対象者の人がすでに接種を済ませている場合や町指定医療機関以外で接種を受けたなどの理由で費用の助成を受けていない場合は、償還払いの制度があります。</p> <p>①医療機関で接種後、いったん費用を全額お支払いください。なお、国の基準により2回接種する人は2回目接種終了後に申請してください。</p> <p>②以下の書類を保健センターにお持ちください。申請により、助成額を振り込みます。申請者（保護者）の身分を証明するもの、印鑑（認印）、新型インフルエンザワクチン接種費用の領収書、接種したことがわかる書類（接種済証、母子手帳など）、申請者の預金通帳（未成年者は、保護者の預金通帳）</p>		

※1 埼玉県内の契約医療機関に限ります。そのほかの医療機関または、接種済みの人は償還払いの欄をご欄ください。

※2 毛呂山町、越生町内（一部を除く）の医療機関に限ります。そのほかの医療機関または、接種済みの人は償還払いの欄をご欄ください。

## 毛呂山町ホームページのバナー広告を募集します

☎・☎ 役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295) 2112 内線 332

🌐 <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

町では自主財源の強化、町内商工業者の振興および生活情報の提供のため、毛呂山町ホームページに掲載するバナー広告を募集します。ぜひご利用ください。

**掲載期間** 平成22年4月1日～平成23年3月31日  
（1か月単位）

**掲載料** 1か月につき15,000円

**バナーの大きさ** 縦160ピクセル×横60ピクセル

**募集数** 6枠

**申込み** 3月12日（金）までに、役場秘書広報課に申請書を提出してください。募集枠を超えた場合は要綱に定められた優先順位で広告主を決定します。申請書は、役場秘書広報課で配布、または町ホームページからダウンロードできます。

※掲載できない広告の条件などについては、町ホームページをご覧ください。

## ふれあい中央公民館

☎ 中央公民館 ☎ (294) 1250

おじいちゃん、おばあちゃんに  
いろいろな遊びを教えてください！



**日時** 3月6日（土）

午後1時30分～3時30分

**場所** 中央公民館

**内容** 昔の遊びコーナー（こま、ベーゴマ、羽根つき、竹馬、折り紙など）

※事前の申込みは必要ありません。当日、中央公民館へ直接遊びに来てください。

## 「放課後子ども教室」参加児童を募集します

☎・FAX 教育委員会生涯学習課学習支援係 ☎ (295) 2112 内線 521、FAX (295) 3939

「放課後子ども教室」は、土曜日やお休みの日の子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の皆さんの参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施することで、子どもたちが地域社会のなかで、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるための活動です。

**実施日** 平成22年4月から毎週土曜日、月4回程度（長期休業日、学校行事や荒天などにより、運営に支障がある場合、その他参加児童の安全に支障がある場合は実施しません）。

**時間** 午前10時～午後3時

**場所** 東公民館

**対象者** 町内小学校に在籍する児童（小学1～6年生）

**持ち物** 弁当、水筒

**活動内容** 放課後子ども教室のスタッフの皆さんが、子どもたちの安全な居場所を確保しながら、学びの場、体験の場を提供します（21年度実施例 百ます計算、こども川柳、習字、英会話、工作）。

**定員** 40人

**費用** 保険料600円、材料費（必要に応じて徴収）

**申込み** 3月17日（水）までに保険料600円を添えて、教育委員会生涯学習課（役場5階）にお申し込みください。

※申込み用紙は東公民館、教育委員会生涯学習課にあります。

※子どもの送迎はしませんので、行き帰りの指導については保護者でお願いします。

## 春季映画会

☎ 福祉会館 ☎ (295) 3111

日にち

3月7日（日）

場所

福祉会館ホール

上映開始時間

1回目…午前10時から

2回目…午後1時30分から

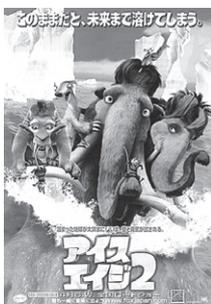
※開場は上映の30分前からです。

**内容** 映画上映「アイスエイジ 2」

**入場料** 無料

**主催** 毛呂山町教育映画研究会、毛呂山町福祉会館

**後援** 毛呂山町コミュニティ協議会、毛呂山町教育委員会



## 第16回文化フェスティバル

☎ 教育委員会生涯学習課学習支援係  
☎ (295) 2112 内線 521

～流れ行く文化～

見て 聞いて いやされて

**日時** 3月13日（土）展示部門

14日（日）展示部門、舞台部門

午前10時～午後4時

**会場** 福祉会館

**内容** 毛呂山町文化協会に加入している団体が、日ごろの活動の成果を発表します。

**展示部門** 華道、絵画、写真、俳句、美術工芸など

**舞台部門** 日本舞踊、新舞踊、ダンス、詩吟、カラオケ、民謡、器楽、人形劇など

**主催** 毛呂山町文化協会

# 保健センターからのお知らせ

申込み・問合せ・実施場所  
保健センター ☎ 049(294)5511

※保健センターへの電話のかけ間違いが大変多くなっています。  
よくご確認のうえ、おかけください。



## 健康相談

### 成人健康相談（心と体の相談）

3月2日（火）・19日（金）9:30～11:30 場 役場ホール

3月8日（月）9:00～12:00 場 保健センター

※心の相談は来所前のご予約ください。

電話相談 月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00

### 乳がん検診・子宮頸がん検診

がんの早期発見、早期治療のためには検診を受けることが大切です（受診回数/2年に1回）。

**対象** 乳がん/40歳以上、子宮頸がん/20歳以上

**費用** 乳がん/600円、子宮頸がん/500円

※生活保護受給世帯・町民税非課税世帯の人は、無料となります。予約時にお申し出ください。また、町からクーポン券が届いている人は無料になります。

#### ■乳がん・子宮頸がん検診日程表■

検診日	定員	予約受付日（午前8時30分から）
3/23（火）	50人	3/1（月）～3/19（金）

**当日の受付時間** 午後0時30分～午後1時40分  
（受付30分前から整理券を配布）



## 子ども

### 乳幼児の予防接種

BCG予防接種 3月9日（火） 田 3/2（火）

ポリオ 3月10日（水） 田 3/3（水）

麻疹風疹（MR）予防接種 3月12日（金） 田 3/4（木）

三種混合 3月5日（金） 田 2/25（木）

3月30日（火） 田 3/23（火）

### 乳幼児健診※対象者には個別に通知します。

4か月児健診 3月3日（水） 田 H21.10生まれの児

10か月児健診 3月4日（木） 田 H21.4生まれの児

1歳6か月児健診 3月17日（水） 田 H20.8生まれの児

3歳児健診 3月16日（火） 田 H18.9生まれの児

### つくしんぼ（赤ちゃん）サロン

**日時** 3月10日（水）

10:30～11:30（受付は10:00～10:15）

**内容** 親子遊びの紹介、参加者の交流

**対象** 3か月～1歳3か月の第一子



## 今月の健康

特定保健指導を受けて健康をまもろー！

平成20年度から始まった特定健診（いわゆるメタボ健診）は、ここで2年目が終わろうとしています。健診については次号でご紹介しますので、今回は、健診後の生活習慣を改善することを目的とした『特定保健指導』についてご紹介します。

保健センターで実施している特定保健指導、通称「健康まもろー教室」は、国民健康保険加入者で、健診の結果、メタボリックシンドロームやその予備群だった人を対象に、月1回程度実施しています。教室では、まず自分の生活習慣を振り返り、健診結果と照らし合わせながら目標を考えます。そして6か月間、計画を変更しながら、生活習慣改善を継続します。保健センターは、個人にあった目標の設定、継続のお手伝いをします。

平成20年度には、延べ約100人が参加しました。1回7～8人程度の少人数グループに分かれ、メタボリックシンドロームの判定基準や腹囲計測方法を学ぶほか、普段健康のために行っていることを話し合ったり、運動や食事などの具体的な情報交換をしたりして、和気藹々とした雰囲気の中、自分ができそうな目標を考えます。

その結果、6か月間で体重、腹囲のどちらかが減少した人が約8割でした。自分で立てる目標は様ざまですが、「体重を毎日計測する」、「寝る2時間前からは食べない」、「間食の回数を減らす」など、ほんの少し生活習慣を改善することで、体重や腹囲がゆるやかに減っているようです。

体重や腹囲が減ることで、メタボリックシンドロームの基準から外れると、脳や心臓疾患などになる確率が下がります。最近、ズボンやスカートがきつくなったと思っている人は少し生活を変化させてみると、生活にさらに張りが出て、健康に近づくかもしれません。

特定保健指導は、どの保険に加入していても実施することになっていますので、加入している健康保険組合などに確認をしてください。日常生活を見直して、皆さんで健康を守りましょう。

### 3月の在宅当番医 9:00～12:00

日にち	医療機関名	専科	住所	電話
3/21（祝）	石川眼科	眼科	越生町越生東2-7-3	277-2077
3/22（振休）	越生メディカルクリニック	内科	越生町黒岩199-1	277-1119

※埼玉医科大学病院（毛呂本郷38 ☎ 276-1465）は、救急部が日曜・祝日を問わず救急患者を受け入れています。

# 3月の行事カレンダー

毛呂山町役場 ☎ (295) 2112

日	月	火	水	木	金	土
	1 <small>☎歴児体</small> ・ストレスのセルフケア教室 場保健センター	2 ・幼児クラブ火曜コース 場児童館	3 ・ぴよんぴよん広場 場児童館→P15	4 ・健康づくり教室 場東公民館 ・幼児クラブ木曜コース 場児童館 ・料理教室 場中央公民館→P22	5 ・ストレスのセルフケア教室 場保健センター ・体育施設 4月分調整会議 場総合公園	6 ・ふれあい中央公民館 場中央公民館
7 <small>児</small> ・4月分総合公園予約日 場総合公園 ・トレーニング機器説明会 場総合公園 ・ペタンク大会 場大類グラウンド ・春季映画会 場福祉会館→P25	8 <small>☎歴児体</small> ・健康づくり教室 場東公民館	9 ・幼児クラブ火曜コース 場児童館	10 ・入間西障害者相談支援センター出張相談会 場役場→P23 ・つくしんぼサロン 場保健センター→P26	11 ・子育てサロン 場東公民館 ・健康づくり教室 場東公民館 ・幼児クラブ木曜コース 場児童館 ・料理教室 場中央公民館→P22 ・骨粗鬆症予防教室 場保健センター	12 ・よちよち広場 場児童館→P15	13 ・子ども映画会 場図書館→P15 ・中学校卒業式 場各町立中学校
14 <small>児</small> ・春の流鏝馬 場出雲伊波比神社→P19 ・やぶさめ学習会 場資料館	15 <small>☎歴児体</small> ・健康づくり教室 場東公民館	16	17 ・ぴよんぴよん広場 場児童館→P15	18 ・健康づくり教室 場東公民館	19 ・骨粗鬆症予防教室 場保健センター	20
21 <small>春分の日</small> <small>児</small>	22 <small>振替休日</small> <small>☎歴</small>	23 <small>歴</small>	24 ・ぴよんぴよん広場 場児童館→P15 ・小学校卒業式 場各町立小学校	25 ・子育てサロン 場福祉会館 ・骨粗鬆症予防教室 場保健センター	26 ・小・中学校修了式 場各町立小・中学校 ・よちよち広場 場児童館→P15	27 ・おやじ広場 場児童館→P15 ・おはなし会 場図書館→P15 ・休日納税・納入窓口 場役場→P20
28 <small>児</small> ・休日納税・納入窓口 場役場→P20	29 <small>☎歴児体</small> ・子宮がん予防教室 場保健センター→P22	30	31 <small>☎</small> ・夜間納税窓口 場役場→P20	<b>施設のお休みマーク</b> ☎図書館 ☎歴史民俗資料館 ☎児童館 ⑤町内体育施設（総合公園体育館・グラウンド、大類グラウンド・ソフトボールパーク、川角公園、西戸・川角・岩井・目白台各グラウンド、弓道場） ⑥=場所		

## 3月の相談コーナー

### 法律相談

■弁護士（要予約）  
3月11日（休）、24日（水）  
13:30～16:00

■行政書士  
3月17日（水）  
10:00～15:00

場 所 役場会議室  
問合せ 総務課自治振興係  
☎内線314

✿土地家屋のトラブル、交通事故、金銭貸借や補償、相続問題など

### 人権・行政相談

3月11日（休）13:00～16:00

場 所 役場会議室  
問合せ 総務課自治振興係  
☎内線314

✿人権問題・行政に関する苦情など

### 教育相談

月～金 10:00～16:30

場 所 教育センター  
電話相談番号 ☎ (295) 2525

✿不登校、いじめ、しつけなど

### 心配ごと相談

毎週水曜日 10:00～正午

場 所 福祉会館  
問合せ 社会福祉協議会  
☎ (295) 3111

✿生活上の悩み、困りごとなど

### 消費生活相談

毎週木曜日 10:00～15:00

場 所 役場相談室  
問合せ 産業振興課商工観光係 ☎内線175

✿違法な契約や商品の苦情など

### 結婚相談



相談を希望される方はお気軽にご相談ください。後日、町から依頼された結婚相談員がご相談にのります。

申込み・問合せ  
産業振興課農林係  
☎内線172



毛呂本郷の庚申塚（昭和6年）（田島政治さん提供）

阿諏訪方面と滝ノ入方面に分かれるY字路にある庚申塚の前で撮影された、春の流鏝馬の記念写真です。当時は、周囲に何もなく、後ろにそびえる山がよく見えます。

現在の風景



募集中

昭和50年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112 内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

すきやき



すきやきは寒くなると喜ばれる鍋料理の一つ。関東では、はじめ牛鍋と呼ばれました。明治4年(1871)に刊行された仮名垣魯文の『安愚楽鍋』に「牛鍋食わぬは開けぬ奴」とあるように、文明開化の象徴と見られた食べ物です。もっとも明治以前にもひそかに牛肉を食べていた地方があり、農夫が屋外で鋤の鉄板に肉をのせて焼いたのが「鋤焼」の語源とされています(ただし、薄切にしたすき身の肉を焼いたからとする説もあります)。

昭和36年(1961)に坂本九が歌った「上を向いて歩こう」(永六輔作詞、中村八大作曲)は、アメリカでも大ヒット曲となりましたが、タイトルは歌の内容と関係のない「SUKIYAKI」でした。明治に舶来の食べ物とされていたすきやきが、約百年を経て日本のシンボルになっていたというわけです。

日本生まれのすきやきは、野菜がたくさん摂れる理想の料理。毛呂山産の野菜をたっぷり入れて、あと少し、寒い冬を乗り越えましょう!

来月は、春の流鏝馬が行われます。毎年、取材に行っていますが、初春のうららかな日差しの中、愛らしい幼子に乗せた祭馬が口取りと共に町中を進む様子は一幅の絵のようです。今月の広報で春の流鏝馬の知識を深めたら、ぜひ当日、見学にお出かけください。(M)

わがやのアイドル



松本 莉沙ちゃん (1歳5か月)

いたずら大好き！お手伝い大好き！でも一番大好きなのはパパ♡ パパが休みの日にはベッタリ。大きくなっても「パパが好き」って言うってくれる優しい大人になってね。



小島 一乃くん (7か月)

一乃はお散歩とお話が好きで、話しかけるとニコニコして「ウーウー」とお話してくれる愛嬌のある元気な男の子です。近所の方がたにも温かく見守られてスクスク成長しています。これからもよろしくお願ひします(^-^)

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。  
☎・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112 内線332